

決 算 報 告 書

第 7 期 事 業 年 度

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

国立大学法人東京学芸大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人東京学芸大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	8,557	8,557	—	
施設整備費補助金	—	397	397	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	95	95	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	40	41	1	(注3)
自己収入	3,827	3,898	71	
授業料、入学金及び検定料収入	3,693	3,691	△ 2	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	134	207	73	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	370	438	68	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	222	222	(注7)
計	12,794	13,651	857	
支出				
業務費	12,384	12,146	△ 238	
教育研究経費	12,384	12,146	△ 238	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	40	438	398	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	95	95	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	370	365	△ 5	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	12,794	13,046	252	
収入-支出	0	605	605	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった収入を計上したことにより、予算額に比して決算額が397百万円多額となっております。

(注2) 補助金等収入については、大学改革推進等補助金の預り補助金の受入れがあったことにより予算額に比して決算金額が95百万円多額となっております。

(注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では想定していなかった収入の増額により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。

(注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料免除額等の増加のため、予算額に比して決算金額が2百万円少額となっております。

(注5) 雑収入については、主として科学研究費等補助金の間接経費の受入れ等により、予算金額に比して決算金額が73百万円多額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった国、地方公共団体、民間等からの受託事業の獲得に努めたため、予算金額に比して68百万円決算金額が多額となっております。

(注7) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の決定により、予算金額に比して決算金額が222百万円多額となっております。

(注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が238百万円少額となっております。

(注9) (注1) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が398百万円多額となっております。

(注10) (注2) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が95百万円多額となっております。

(注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が4百万円少額となっております。